

平城宮大極殿跡

奈良県名勝写真帖

明治 43 年 11 月 26 日発行

発行者：奈良県



NHK奈良放送局 岡本教授の大和まだある記

～平城宮跡はなぜ遺ったか～

平成 30 年（2018）6 月 12 日（火）放送

幕末、北浦定政が平城宮大内裏坪割之図を作成して研究を始める。明治 33 年、関野貞が土地の人が「大黒の芝」と呼んでいるところが大極殿跡と発表。棚田嘉十郎が荒廃した大極殿を見て保存運動を決意する。私財をうちこみ保存活動をする。死の翌年（大正 11 年）史跡に指定された。

明治末期の平城宮跡

写真：奈良県名勝写真帖より（発行：明治 43 年）
（放映された写真）



※棚田嘉十郎（1860～1921）の像

平城京保存運動の立役者
朱雀門東南に建つ。



※JR 奈良駅前にある道標
平城宮大極殿是より西乾二十丁。
明治四十三年棚田嘉十郎建立。

写真は：平成 20 年



※写真は放映されていません。